

# アンケート調査結果報告書

## アンケート調査概要

項目	詳細
調査目的	「人権破壊工場～完全破壊マニュアル～」の読後満足度および設定に関する調査
調査対象	本作を購入・読了した20代～40代の男性12名
調査期間	2025年4月～2025年10月
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドソーシング
出典元	<a href="https://fkikaku.co.jp/book/zinkenhakai-kanzenhakai/">https://fkikaku.co.jp/book/zinkenhakai-kanzenhakai/</a>

## 読者感想レビュー詳細

No.	属性	感想内容
1	30代男性	シリーズ最新作ということで期待していましたが、「あえて調教に失敗する事例をマニュアル化する」という狂ったコンセプトに度肝を抜かれました。責めすぎて壊れていく過程をドキュメンタリー的に描く手法は、まさに「こちら側」の人間にはたまらないご褒美です。
2	20代男性	ココロとカラダが徹底的に粉碎される描写に、未知の快感の扉を開かされました。特に精神が壊されていくシーンの絶望感が凄まじく、可愛い女の子が「ザコ」のように無慈悲に扱われるシチュエーションが好きな人には、これ以上ない傑作だと思います。
3	40代男性	これまでのシリーズ以上に触手やファンタジー要素が加わっていますが、根底にある「人権を完全に無視した極悪非道なプレイ」は健在。反抗的だった地味なヒロインが、罰を受けてからは工場サイドに媚を売るようになるという設定が、背徳的で非常にエッチでした。
4	30代男性	全編通して機械姦に特化しており、容赦ない貫通描写が癖になります。調教役がほぼナレーションのみで進行するため、自分自身が工場の記録映像を閲覧しているような没入感がありました。マニュアルという形式ゆえの

		冷淡さが、エロさをさらに際立たせています。
5	20代男性	二つ結びの女の子が、ダイナミックな動きの機械触手によって「ふざけている」という理不尽な理由で酷い目に遭わされていく様に興奮。予想の斜め上を行く触手の造形と、それに翻弄される肢体の質感描写が素晴らしく、視覚的な暴力美を感じました。
6	30代男性	連続アクメで完全に自我が崩壊していく様子が圧巻です。人体的に限界を超えているであろうハードなプレイですが、イラストの説得力があるため、その過酷さがダイレクトに脳に響きました。リョナ的な要素と高度な調教が融合した、唯一無二の作品です。
7	40代男性	調教の「慣らし」をほぼ省き、いきなり最奥まで到達させるような暴力的なスピード感が最高。機械的な無機質さと、少女の生々しい嬌声のコントラストが卑猥で良い。完璧を求める調教マニュアルには、確かにこうした「失敗」の記録が必要だと納得しました。
8	30代男性	ターゲットとなる女の子の表情の変化が絶品。最初は反抗の意志があった瞳が、吊るされ、責められ続けることで、最終的には工場に依存するように媚びた色を帯びていく。その「わからせ」のプロセスが、マニュアル形式で淡々と語られるのがエロすぎます。
9	20代男性	既刊を読んでいなくても冒頭の解説で世界観に入れる親切設計が嬉しい。でも、読み終わる頃にはこの「人権破壊工場」という概念そのものに魅了されてしまい、過去作もすべて揃えたいくなりました。まさに中毒性のある、劇薬のような一冊。
10	30代男性	S字結腸プレイのような、内臓にまで干渉する過酷な描写が好きな層にはクリティカルヒットするはず。物理的な苦痛が快感に変換される瞬間の描写が丁寧で、自分もこの女の子のように「壊されたい」と思わせるほどの魔力がありました。
11	40代男性	従来の人間同士の調教モノとは一線を画す、冷徹な「システムとしてのエロス」が完成されています。意志を持たない機械触手によって蹂躪される絶望感が、キャラクターの可愛さをより一層引き立てていました。今年読んだ中で最も衝撃的な内容です。
12	20代男性	構成が非常にユニークで、エロ漫画というよりは一つの「背徳的な映像資料」を読んでいる気分でした。女の子が嬌声を上げ、身悶える姿が「データ」として処理されていく冷酷な世界観。その無慈悲さに、これまでにない興奮を覚えました。

